

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年6月8日 VOL. 60

サービスの質の向上を図り、地域密着型サービス事業所の連絡会を開催！

平成30年5月9日(水)市内の地域密着型サービス（**小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護**）の事業所を対象に、在宅医療との連携強化、事業所同士の情報交換及び情報共有によるサービスの質の向上、市民への周知の効果的な実施のための市との連携を目的とした事業所連絡会を開催しました。連絡会には市内17事業所の職員が参加し、活発な意見交換を行いました。

今後、地域密着型サービス事業を市民により知ってもらうため、**65歳到達者に対する説明会**において事業所職員がサービス内容を説明すること、事業所が在宅医療との連携がとれ、より効果的なサービスが提供できるよう、**市が開催する“藤枝市在宅医療・介護連携推進会議”**に参画し、意識統一を行っていくことを確認しました。



意見交換を行う参加者

平成30年度 介護保険事業関係団体の定期総会が開催されました！

藤枝市介護支援研究会総会

平成30年5月21日(月)**藤枝市介護支援研究会**（以下「ケア研」）の定期総会が開催され、138人という大変多くのケアマネジャーが参加しました。総会後の講演では、一橋大学大学院の猪飼周平教授を招き、「生活に視点を向けた支援」や「寄り添う支援」の必要性を再確認するとともに、教授からは今後のケアマネジャーの活躍へのエールが送られました。ケア研では、ケアマネジャー同士や他の職種との連携と資質向上を目指し、本年も積極的に研修会を開催していきます。



講演に耳を傾ける会員

しだ介護サービス事業者協議会定期総会



会員へのあいさつを行う新会長
(左側:ゆめ広場大内氏)

平成30年5月23日(水)**しだ介護サービス事業者協議会**（以下「しだ介」）の定期総会が開催されました。志太地区に所在する介護サービス事業者で構成されたしだ介は、会員相互の連携や情報交換、サービスの質の向上等を目的に活動し、藤枝市介護支援研究会との合同研修会、市内小中学校の福祉教育への取り組み、介護技術講習等を実施しています。

総会では新会長が選任され、しだ介としての活動の意義や可能性を協議し、新たな方向性を決定していく大事な一年になるとの話がありました。市は今後もしだ介のバックアップを務めていきます。総会後には、神奈川県介護支援専門員協会副理事長の松川竜也氏より、「次期改正に向けてこの3年間で準備しておくべきこと」と題し、第8期介護保険制度改正の方向性やサービス提供事業所が取り組むべき課題についての見解を示す講演があり、参加した会員は熱心に講師の話聞いていました。

「次期改正に向けてこの3年間で準備しておくべきこと」と題し、第8期介護保険制度改正の方向性やサービス提供事業所が取り組むべき課題についての見解を示す講演があり、参加した会員は熱心に講師の話聞いていました。